



山形一中だより 第121号

令和6年4月18日

発行 山形市立第一中学校

4月8日（月）に令和6年度の入学式が挙行され、希望に満ちあふれる新入生151名が山形一中の新たな仲間となりました。今回は、その式で行われた「校長式辞」をご紹介します。



入学式 校長式辞

山形市立第一中学校

校長 細谷 直樹

～ 略 ～

これからの大切な三年間を、皆さんが有意義に過ごすために、二つの話をしたいと思います。

一つ目は、「自分のいのちを大切にし、他の人のいのちも大切にする」ということです。今、皆さんは、家族から、そして多くの方々から祝福を受けております。皆さん一人一人が大切な宝物であり、かけがえのない存在なのです。そして、皆さんの周りにいる友達も、同じようにとても大切な存在です。大切にすることは、自分との違いを受け入れ、その存在を尊重することです。一人一人の個性には違いはありますが、その違いを認め、互いに思いやりの心をもって生活してください。自分も友達も、より一層好きになり、自分だけでなく、みんなで大きく成長していただきたいと思います。

二つ目は、「挑戦する」ということです。中学校では、授業や部活動などの日々の学校生活、体育祭や合唱コンクール、体力別遠足などの学校行事、そして、生徒会活動やボランティア活動など、いろんな活動を行っていきます。それらを通して、皆さんは様々な経験を重ね成長していきます。それは、もしかすると自分ではあまり実感できないかもしれませんが、それは、皆さんを成長させる経験は、必ずしも上手くいったことだけではないからです。むしろ、失敗したり、不十分だったり、悔しかったりする経験が、皆さんを成長させることのほうが多いかもしれません。皆さんには、これからの中学校生活で、失敗をおそれずに様々なことに挑戦し、大きく成長していただきたいと思います。～略～

本日お越しくださいました皆様方には、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。151名の新入生一人一人が、これからの一中での生活で、大きく飛躍し、心豊かにたくましく成長することを願い、式辞といたします。

